

平成26年度 部長マニフェスト 生活環境部長 加藤登志雄

部の概要			
所属課と人員 (H26.4.1現在)	生活コミュニティ課 環境政策課 ごみ減量課 産業振興課 都市農業推進担当	55人	

部の運営方針

地域コミュニティの振興や水・緑・生活環境の保全、廃棄物の処理、農業や商工業の振興等を所掌しています。所掌業務を通じて市内外の交流人口を増やし、地域の活性化を目指します。人と人、人と地域をつないでいくため、職員が積極的に地域に出ていきます。

平成26年度は農業・農地を守ることを重要な課題ととらえ、そのための誘導策を検討するとともに、城山地区里山プロジェクトに取り組んでいきます。

平成26年度の重点項目				
	項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)	達成度
1	城山地区里山プロジェクトの運営	城山には水と緑、農業、谷保の歴史が凝縮しています。「城山さとのいえ」やプレイパーク、古民家、体験水田などの事業が有機的に連携し多くの方楽しんでいただけるよう、地元や関係機関の連絡、情報交換の場として里人会議を開催していきます。	・里人会議を5月に開催しました。 ・各団体のイベント等の情報を、参加団体に発信しました。 ・城山池の復活工事やウッドデッキ、水路の改修を行いました。	B
2	城山さとのいえの運営	国立の農の交流・体験施設である「城山さとのいえ」を建設します。多くの人に来ていただける施設となるよう、運営方法等については農家や地元の方などと、十分に協議していきます。	城山さとのいえが3月22日にオープンしました。準備段階から、農家の方等に協力していただくとともに、現地に市職員を配置したことにより、市に農地の提供申し出が何件かあるなど、農家の方との距離が近くなりました。	A
3	観光施策の立案	国立市には大きな観光資源はありません。しかし、四季折々のイベントや美しい街並み、身近で豊かな自然など、人々を魅了するものがあります。観光懇談会を開催し、国立の魅力を再発見して観光施策をまとめます。	観光懇談会より「国立市の観光に関する提言書」が提出されました。41のアクションプランがしめされていますが、これらの具体化は中小企業等検討会議で行っていきます。	B
4	ごみ問題審議会の運営	平成25年11月に「家庭ごみ有料化の制度設計」と「循環型社会形成推進基本計画の改訂」について諮問しました。平成26年度は中間答申が提出される予定ですが、ごみ減量に資する答申となるよう、審議会の円滑な運営を目指します。	13回の審議を行い、ごみ問題審議会より「家庭ごみ有料化の制度設計」について、中間答申が提出されました。	B
5	消費者被害防止の制度づくり	国立市は振り込み詐欺等の被害が多いといわれています。各種団体の集まりに声をかけ、積極的に短時間の出前講座を開催し、被害防止を訴えます。	振り込め先等の被害防止のため、自治会や老人会等を対象にしたミニ出前講座を24回、また、国立第二中学校(3年生・5クラス)で出前講座を行いました。どちらも初めの試みでした。	A